【 診療科：乳腺外科 】
【 レジメン登録番号：SB-20e 】

〈 Pertuzumab + Trastuzumab + DTX 療法（PAXMAN用） 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール（day） 1 ・・・・・・・・・ 21
ドセタキセル	75mg/㎡	div	○
パージェタ	初回 840mg 以降 420mg	div	○
トラスツズマブBS	初回 8mg/kg 以降 6mg/kg	div	○

【1コース期間： 21日】

【総コース数：進行再発→制限なし
術前術後療法→3～4コース。
その後パージェタ・トラスツズマブBSのみ合計12ヶ月間（最大18コース）投与する。）】

【適応癌種： 乳癌 】

【時期： 術前 、 術後 、 手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路（速度）
Rp.1	デキサート 6.6mg 生理食塩水 50mL	div（15分で）
Rp.2	ドセタキセル 75mg/㎡ 生理食塩水 250mL	div（60分で）
Rp.3	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.4	パージェタ 初回 840mg 以降 420mg 生理食塩水 250mL	div（初回60分で） （以降30分で）
Rp.5	生理食塩水 100mL	div（初回60分で） （以降30分で）
Rp.6	トラスツズマブBS 初回 8mg/kg 以降 6mg/kg 生理食塩水 250mL	div（初回90分で） （以降30分で）

【参考文献：パージェタ・トラスツズマブBS・ドセタキセル添付文書,
Annals of Oncology 29:646-653;2018、N Engl J Med 2017;377:122-31 】
【備考①：前回投与日から6週以上経過した場合、再ローディング可。 】
【備考②：パージェタ・トラスツズマブBSの減量不可。 】
【備考③：術前術後療法の場合の投与方法は、総コース数参照。
進行再発の場合ドセタキセル中止後、パージェタ・トラスツズマブBSのみでも継続可。 】
【変法情報： 】